

中央卸売市場

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 特別会計

と場会計

(2) 財 産

2 実地審査場所

中央卸売市場

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、中央卸売市場執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理、処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

なお、財産に関する調書の計数については、次のとおり、その一部に誤りが認められた。

(1) 財産管理

ア 物品について

(ア) 物品8点(食肉市場のエアーのこぎり8台)が過大に登載されている。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決算の概要

1 歳入歳出決算の状況

(1) と場会計

ア 歳入

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増()減	収入率
使用料及手数料	917,501	832,697	84,803	90.8
繰入金	4,725,000	4,490,897	234,102	95.0
諸収入	32,498	19,590	12,907	60.3
都債	516,000	471,000	45,000	91.3
繰越金	1	0	1	0
国庫支出金	0	1,013	1,013	
計	6,191,000	5,815,197	375,802	93.9

歳入は、第1款使用料及手数料ほか5款であり、予算現額61億9,100万円、収入済額58億1,519万余円、比較減額3億7,580万余円、収入率93.9%である。

歳入の主な内容は、

- ・使用料及手数料のうち、と畜解体事業に係ると畜使用料 8億3,098万余円
 - ・一般会計繰入金 44億9,089万余円
- である。

イ 歳出

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
と場事業費	6,191,000	5,815,197	0	375,802	93.9

歳出は、第1款と場事業費で1項4目に区分し執行しており、予算現額61億9,100万円、支出済額58億1,519万余円、不用額は3億7,580万余円、執行率93.9%である。

主な執行内容は、

- ・と場事業の管理運営に要したもの
 - (項)と場事業費 (目)管理費 22億2,097万余円
 - ・と場施設の維持管理及びと畜解体作業に要したもの
 - (項)と場事業費 (目)運営費 20億3,822万余円
- である。

2 財産の管理状況

ア 財産

区 分	平成 1 5 年度末現在高	平成 1 4 年度末現在高	増 () 減
1 公有財産 建 物	22,120.90 m ²	22,121.32 m ²	0.42 m ²
2 物 品	7 3 点	5 8 点	1 5 点

中央卸売市場で所管している財産は上表のとおりであり、その主な増減事由は、
・物品の増加は、高圧洗浄機等の取得によるもの
である。